

# — 会 告 —

## 卒後教育プログラムの開講について

日本核医学技術学会 学術大会卒後教育・シンポジウム委員会

日本核医学技術学会では、会員の生涯教育を目的として総会開催時に「卒後教育プログラム」を併催して参りました。本年度も第37回日本核医学技術学会総会（横浜）において、下記の内容で実施致します。

今回も3つのプログラムを用意しており、核医学専門技師取得者を対象とした臨床講座、核医学専門技師を目指す基礎教育講座、教育講演としてコンパートメントモデルについての講演を予定しております。一人でも多くの会員の皆様に受講をお願い致します。

なお、本プログラムは核医学専門技術者認定の対象であり、基礎教育講座および教育講演の両方を受講した場合に限り認定単位として10単位が与えられます。基礎講座、教育講演のいずれか一つのみの受講では、単位は認められませんのでご注意ください。受講者には、プログラム終了後に受講証を発行致しますので、単位申請時にご使用下さい。

### 記

#### 1. 日 時

平成29年10月7日（土）9時00分～12時00分

#### 2. 会 場

パシフィコ横浜会議センター（第12, 13会場）

#### 3. 内 容

卒後教育プログラム I 「核医学専門技師対象」

10月7日（土）9時00分～11時00分、第13会場

司会 山下 高史（東海大学医学部付属病院）

テーマ：「脳」

1. 「臨床医の立場から」脳神経外科医による物忘れ外来

— 認知症鑑別診断の難しさ 中根 一（帝京大学医学部附属溝口病院）

2. 「読影医の立場から」脳核医学検査と読影の実際

橋本 順（東海大学医学部）

卒後教育プログラムⅡ「基礎教育講座」

10月7日（土）9時00分～11時00分，第12会場

司会 廣野 圭司（横浜市立大学附属病院）

1. 「放射線物理学」核医学に必要な放射線物理学の基礎  
小池 貴久（杏林大学保健学部）
2. 「臨床核医学」肝胆膵領域における核医学診断の役割  
内山 勝弘（山王病院 PET 画像診断センター）
3. 「放射線管理」核医学の安全を知ろう！やろう！広げよう！  
木田 哲生（滋賀医科大学医学部附属病院）

卒後教育プログラムⅢ「教育講演」

10月7日（土）11時00分～12時00分，第13会場

司会 山本 智朗（杏林大学保健学部）

テーマ：「コンパートメントモデル」

「コンパートメントモデルを理解しよう」

渡部 浩司（東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター）

日本核医学技術学会の核医学専門技術者認定単位は2講座で10単位

（卒後教育プログラムⅠまたはⅡとⅢの受講証が必要です。）

日本核医学専門技師認定機構の核医学専門技師認定単位として15単位，核医学専門技師更新単位（専門技師対象臨床講座のみ）として15単位が認定されています。